



表紙作品 ポップアップ絵本『わたリトリーズ 大分をたんけん!!』
原 恵里奈（2010年美術科卒業）

観光案内を絵本で表現しました。好奇心旺盛な渡り鳥たちが大分を旅するという設定で、地域の特産品や観光スポットを紹介する楽しい仕掛け絵本です。

Contents

- 1 先生おすすめの一冊
- 2 視聴覚室へ行こう！
- 3 学生選書ツアー
- 4 こんな本が新しく入りました
- 5 図書サークル部員募集中

先生おすすめの1冊



『ひとりでは生きられないのも芸のうち』

内田 樹 著 2011年 (文春文庫)

美術科
澤田 佳孝

先生 ③がおすすめです。次に自分の興味ある分野について書かれたものへと読み進んでください。

さて、3・11以降、デマに近いような内容を含んだ大量の情報が乱れ飛び、それらに翻弄されそうな日々が続いています。しかも他方では、先行きが不透明で不安な毎日を過ごさざるを得ないという閉塞感に満ちた世相にも、変化のきざしはありません。そんな暮らしの中では、時々一息入れること、めまぐるしく移り変わる目先の情報から少し距離を置き、人としてのホメオスタシス（恒常性）をとりもどすために頭を冷やし、世にはびこる狸や狐にだまされないためにも眉につばを塗り我に返ることが必要です。そんな時、内田の本を開いてみてください。

- ①ひとりでは生きられないのも芸のうち ②下流志向 ③こんな日本でよかったね ④どんどん沈む日本を愛せますか？ ⑤街場の読書論 ⑥街場の大学論 ⑦期間限定の思想 ⑧街場のアメリカ論 ⑨日本辺境論 ⑩街場の教育論

(さわだ よしたか/生活造形・基礎造形)



『魚とお米と野菜たっぷり 家庭で作るポルトガル料理』

丹田いずみ 著 2008年 (河出書房新社)

国際文化学科
疇谷 憲洋
先生

「ここに地果て、海始まる」と詠われる、ユーラシア大陸最西端に位置するポルトガルは、日本からはとても遠い国です。しかし500年近く昔には大分にも来航し、金平糖、カルタ、煙草など様々な事物を日本に伝えた「南蛮人」の故郷でもあることから、なんとなく懐かしさを感じる国でもあります。

そんなポルトガルの、シンプルで気取らない食文化を味わえるのが、この『家庭で作るポルトガル料理』です。魚介類に恵まれ、またイスラーム教徒の影響によって米をよく食べるポルトガルの料理は、日本人の口にもあい、材料も手に入れやすく作るのも比較的簡単なのが特徴です。おすすめは「アレンテージョ風豚とあさり炒め」(作り方は37ページ)。豚肉とあさりの意外な組み合わせがどことなく懐かしい味わいの一品で、わが家ではあさりの季節によく作っています。

料理以外にも、オリーブオイルやワイン、塩、お菓子など、ポルトガルの食文化を伝えるコラムが充実しているこの本で、お気に入りの一品を見つけ、実際に料理して、目と舌でポルトガル気分を味わってはいかが？

(くろたに のりひろ/文化交流史)



『椿姫』

アレクサンドル・デュマ・フィス 著 西永良成 訳 2008年 (光文社文庫)

音楽科
行天 正恭

先生 原作の小説ではなく戯曲に基づき音にしたことが、現代でも感動の嵐をよぶ秀逸な作品となった所以であろう。デュマ・フィスの原作と、オペラ『椿姫』には色々と相違点がある。

原作のヒロイン、マルグリットはオペラではヴィオレッタという名前になっているし、アルマンもアルフレードに変わっている。そして何といても一番の違いは、ラストシーンである。二人の恋のいきさつは大体同じなのだが、原作ではアルマンがマルグリットのもとに駆けつけたときには、すでに彼女は息絶えており墓から彼女の亡骸を掘り出す、というグロテスクなシーンさえある。一方オペラでは、終幕において二人は感動的な再会を果たし、ヴィオレッタは最愛のアルフレードの腕のなかで、幸福な最期を迎えるのだ。

劇場でオペラ『椿姫』を観劇する前、またDVD等で視聴する前、皆さんが楽曲と向き合う前に、是非原作に触れてほしいと思う。そのことによって、より作品を理解し、また作品により深く寄り添うことが出来るであろう。

(ぎょうてん まさやす/声楽)



『手紙』

東野圭吾 著 2006年 (文春文庫)

情報コミュニケーション学科
狩谷 新
先生

ミステリー作家として、高い評価を得ている東野さんですが、理科系出身だけあって、ミステリーの分野では登場人物の記号化が目立ちます。映画やドラマのプロットを読んでいる感じであることは、昨年の紀要に詳しく書きましたから、興味のある人は読んで下さいね。そんな作者が、犯罪者の家族(殺人犯の弟)を主人公に据えた『手紙』は、ロングセラーとなる要素を備えた作品です。

「善意の差別」とでも言うべき問題に正面から取り組み、単に非難するのではなく、大きな問題提起を行っています。映画化もされ、メディア・コミュニケーションという講義でも取り上げていますが、映画を観た人もじっくり読んでみる価値のある一冊です。「差別」してしまう登場人物が「悪人」でないように、主人公も決して単純な「善人」ではありません。殺人を犯した本人ではないのに自分が受ける苦しみから、兄を恨むこともある普通の人間です。すっきりとした結末ではありませんが、読後感はさわやか。人を想うことの強さを素直に教えてくれる一冊です。読んで面白かったら「天空の蜂」(講談社文庫)に進むのがよいでしょう。答えの出ないテーマで光る作家です。

(かりや しん/メディア・コミュニケーション)





学 生 選 書 ツ ア ー

学生が図書館に置きたい本を選ぶ、本年度第1回目の「学生選書ツアー」を6月、大分市内の書店で行いました。選んだ本のうち参加者が特におすすめしたいものについて、コメントを寄せてもらいました。今回入ってきた計88冊の本は、学生選書コーナーに並べていますので、ご覧になってください。

学生選書ツアーに参加して

情報コミュニケーション学科 2年 永星希史子

今回、私が選書ツアーに参加した理由は、多くの人に本の良さを知ってもらいたいと思ったのと、本を読むのが苦手だと感じる人にも本を読むきっかけをつくりたいと思ったからです。私が読書を好きになったきっかけはある本との出会いです。その本は躍動感あふれる筆致で、実際に目の前で物語が進んでいると思わせるほどのものでした。読み終えたときは「本ってすごい！」と思ったのを覚えています。それからは友人に本を薦めたり、すすめられたりしながら、本に触れる機会が多くなりました。本は多くの言葉が詰まっていてその中のフレーズや主人公に勇気をもたらしたり自分の原動力になる時があります。私も本に力をもらうことができました。また、本を読むことで

喜怒哀楽、さまざまな感情を与えてくれるというのも本の良さだと思います。選書ツアーに参加して、自分が選んだ本が図書館に並び、たくさんの人に読んでもらえるのはとてもうれしいです。私を含め、今回参加した人たちは“この本を読んでほしい”“こんな本が図書館にあったらおもしろいのではないか”という一人一人の思いがあって本を選んでいきます。ぜひ、図書館へ足を運んで自分のお気に入りの本に出会ってほしいです。



参加者が特にすすめる本のコメント

美術科 1年 鹿子木恵里

『おじさん図鑑』

なかむら るみ 著
(小学館)



貴方がお求めのおじさんもお呼びでないおじさんもこの一冊の中にきっと居る！！そう言わしめてしまうほどにおじさんだらけな本『おじさん図鑑』興味ひかれた方はぜひお手に取ってみてください。おじさんの多様多様さ、それらに対する著者の脅威の観察力によって、めくるめくおじさんワールドに惹きこまれることでしょう。

『葉隠超入門』

市川スガノ 著
(草思社)



“武士道といふは死ぬことと見付けたり”というフレーズで有名な江戸中期の書物『葉隠』ですが、武士のいなくなったこの世の中ではどうも理解できないむかしの哲学書のように感じますね。しかしその言葉の真意はこういう意味があるのだと、著者が解説していきます。それも分かり易く順を追っていくので、葉隠入門にはピッタリですよ。

美術科 1年 田口 志穂

『フラワーフェアリーズ～花の妖精たち』

シンリー・メアリー・パーカー 著
(グラフィック社)



シンリー・メアリー・パーカーが描いた妖精を見ることができる本です。私たちの周りにある身近な花から珍しい花など、いろいろな植物の妖精たちが登場し、1ページ1ページに歌が書かれています。とても可愛いらしいので女性の方に一度は見てほしい一冊です。

『バカが全裸でやってくる』

人間人間 著
(アスキー・メディアワークス)



物をつくるにしても曲をつくるにしても、プロになるということは簡単なことではない。話をつくるというのもそうである。この本は、大学1年生の作家を夢みる人と、その他数名の人たちの物語である。全員が「小説バカ」であり、それぞれ個性あふれる魅力のある登場人物たちだ。バカが嫌いじゃない人、小説が好きな人におすすめです。

音楽科 1年 樋口 和音

『蠟人形館の殺人』

ジョン・ディクスン・カー 著
(創元推理文庫)



名探偵アンリ・バンコランが活躍する、ディクスン・カーの初期の長編シリーズの4作目です。終わり方が本当に恰好いです。本格ミステリ作家として名高い作家らしく、とても読み応えのある作品です。

『氷菓』

米澤穂信 著
(角川文庫)



2012年4月にアニメ化された作品の原作シリーズの第1巻です。作者は映画『インシテミル』の原作の同名小説を書いた米澤穂信さんです。日常の謎をテーマに書かれた学園ミステリで、小説『インシテミル』とは違い、全体的に爽やかです。

国際文化学科 1年 安東 茉耶

『新聞で学力を伸ばす』

齋藤 孝 著
(朝日新聞出版)



インターネットやスマートフォンが定着した今、自分が興味のある記事だけ読むというのが当たり前になってきました。だからこそ、新聞の存在が重要になってきます。この本は、実用日本語力をつける最適な教材として新聞が紹介されています。就職にも役にたつのでぜひ読んでみてください。

『日本人が世界に誇れる33のこと』

ルース・ジャーマン・白石 著
(あさ出版)



著者は日本に長く滞在することで、海外に広げるべきノウハウやベストプラクティスに気付いたそうです。私たちが海外で生活することで、日本の素晴らしさに気付かされることは多々あると思います。日本にだって世界に負けていないことがたくさんある。この本は私たちが日本人として誇らしいなと感じさせられる本です。

国際文化学科 1年 竹中 容子

『日本人のちょっとヘンな英語』

デイビッド・セイン 著
(アスコム)



今の時代、国際化が進む中で、日本人の英語は世界になかなか通用しませんし、単語も一つ間違えれば、全く違う意味が変わります。かといって、本当に身になる英語の勉強をするには、なかなか難しいと思います。この本は、マンガ形式でも読みやすく、多くの人が間違えやすい英語の言い回しや、単語の使い方などが書いてあり、すぐにでも英会話で使えるようなことがたくさん書いています。I recommend this book 絶対役に立ちます。

『大分県謎解き散歩』

甲斐素純・渋谷忠章・段上達雄 著
(新人物往來社)



「豊の国」大分県は、思っているよりも歴史が深く、いろんな地域に謎がたくさんあります。山あり、海あり、温泉あり、グルメあり、と魅力がいっぱいあります。大分県出身の方でも聞いたことのないような情報が載っています。大分県って、意外と面白いことがたくさんあります。「大分の謎」を知りたいなら、是非おすすめします。

情報コミュニケーション学科 2年 永星希史子

『本からはじまる物語』

恩田 陸〔ほか〕 著
(メディア・パル)



著者18人からなる、短編小説。短くも長くもない、とても読みやすい本です。「本」「本屋」をテーマにした、ファンタジー、歴史、ミステリー、恋愛とさまざまなジャンルで展開される物語はとても個性的でした。本好きな人にはもちろんのこと、長編が苦手な人にもおすすめの一冊です。

『ギリギリまで動けない君の背中を押す言葉』

千田琢哉 著
(日本実業出版社)



本屋で、ばらばらとめくって目にした言葉にぐっときて、この本を選びました。挑戦、行動、恋愛、家族など、人生のあらゆる場面で前に進めない時に背中を押してくれる言葉が詰まっています。何かを始めたい、変えたいと思っている人にはぜひ、読んでほしいです。

視聴覚室へ 行こう！

先生おすすめの1枚

『落語研究会・古今亭志ん朝・全集下』
DVD

請求記号 DVD / 915



情報コミュニケーション学科
安倍 尚紀 先生

皆さんは最近、どんな方法で音楽を聴いていますか。音楽科の人やDJをしている人は、LPレコード盤で聴いているかもしれません。その他の多くの方は、携帯型プレイヤーやスマートフォンで聴いている、といった感じでしょうか。では、その音楽はどうやって入手したのでしょうか。ここ20年で一般的だった「CDを買う」という以外に、昨今では、ダウンロード購入等、PC経由の入手方法が増えてきています。このように、CDさえも購入せず、クリックひとつで音楽を入手することを「味気ない」と思う人も多いかも知れません。

この「味気なさ」は、およそ100年前、蓄音機が普及した時も、同じように叫ばれました。では、「味気ある」もっとも高度な聴き方とはどんな聴き方なのでしょうか。今も昔も、それは、ライブ、コンサートで「生の音」を聴くことです。

ライブ、コンサートで生の音は、その場で1度限りしか聴けないオリジナルである他方、CDや携帯データは、その複製です。ドイツの社会学者、W.ベンヤミンは、こうした複製技術が、世の中に「味気なさ」を蔓延させていくだろうと予言しました。彼によると、オリジナルのコンサートがもつ「崇高な」「一回きりの」アウラ（Aura・日本語では「オーラ」）が、その複製であるCD等では失われてしまっています。

このアウラという意味で極めて興味深い事例として、日本には、誇るべき伝統芸能、落語があります。僕達がテレビで知るお笑い芸人は、ネタ勝負です。ダンディー坂野、小島よしお等の「消えた一発芸人」のように、そのネタは数年で鮮度が落ちて古くなってしまいます。ところが、落語の世界では、江戸時代中期「落し咄」が始まって以来、ほとんどのネタは、繰り返し演じられ、見る側は最初からオチを知っているのです。古くさい繰り返しの伝統芸能であるはずなのに、なぜ近年では『じょしらく』『落語心中』のような話題作が次々と登場し、若者の間でも大流行しているのでしょうか。その魅力のヒントは、何より上記のアウラにあると思われまます。

本DVD『落語研究会・古今亭志ん朝・全集下』は、東京在住時代の私の兄弟子である千一亭志ん諒兄さん一押し「記録映画」とでも呼べる作品です。落語会の王道を極めた名人である故・志ん朝師匠のネタだけでなく、声のトーン、「ドラムの単独演奏のような」全体のテンポ、リズム、身振り手振り、志ん朝の思想が余すところなく記録されています。

落語初心者向けのアドバイスとしては、まず、本DVDを観てみることをおすすめします。その後は、東京で毎日、何ヶ所かで上演されている寄席に立ち寄ってみるのも一案ですが、それよりもむしろ、柳家喬太郎、春風亭昇太、立川志の輔など勢いのある師匠たちの「独演会」に足を運んでみましょう（九州でも機会あり）。全開のアウラに圧倒され、落語の持つ面白さ・いい加減さ・寛容さ等の魅力に惹きこまれるはずですよ。

「寄席ってのはあったけえんだよ。オイラみてえな世界一のバカでも受け入れてくれるところなんだ」（雲田はるこ『昭和元禄落語心中』1巻）

難しそうなどと気負わずに単なる「おはなし」として落語に触れてみてください。
(あべ なおき / 社会学専攻・高座名 とん八)

視聴覚室利用ガイド

☆ 視聴覚室（2階）ではオペラやクラシック、映画などを鑑賞することができます。

☆ 視聴機器は昨年すべて入れ替え、新しい映画のDVDも多数いれていますのでご利用ください。

☆ 友達と一緒に観たい場合は大型テレビのあるグループ学習室をご利用ください。

☆ DVDは貸出できませんが、CDは借りることができます。

利用時間 12:30～19:00（月曜～金曜）



こんな本が新しく入りました

平成24年3月から9月までの新着資料の中から一部紹介します。DVDは館内で鑑賞できます。

選定 学科名	書名	編著者名	図書ラベル	配置場所
美術科	アニメ・コミック・ライトノベル・ゲームのデザイナー集	ワークスコーポレーション	022.5/O14	3 閲
	なぜデザインが必要なのか：世界を変えるイノベーションの最前線	エレン・ラブトン〔ほか〕	501.8/L97	2 閲
	芸術家の家：作品の生まれる場所	ジェラルド＝ジョルジュ・ルメール	702/L54	1 閲
	Hi, konnichiwa：草間弥生art book	草間彌生	723.1/Ku83	1 閲
	フェルメールとスピノザ：「永遠」の公式	ジャン＝クレ・マルタン	723.3/Ma53	1 閲
	絵本の事典	中川素子	726.6/N32	1 閲
音楽科	木を植えた男：フレデリック・バック作品集	フレデリック・バック	DVD/885	DVD コーナー
	Drei Klavierstücke op. 11	Schoenberg	B1.2/Sc'o/UE	1 閲
	Œuvres complètes pour piano de Claude Debussy=ピアノ作品全集	Debussy	B1.2/De/YM	1 閲
	Rigoletto-fantaisie : duo concertant pour deux flûtes et piano, op. 38	Doppler	B8.4/Dop/ GB 1/3/3/3	1 閲
	Grand nonetto pour violon, alto, violoncelle, contrebasse, flûte, hautbois, clarinette, basson et cor op. 31	Spohr	B8.7/Spo/P 1/9/9/9	1 閲
	バッハ 口短調ミサ曲	クリストフ・ヴォルフ	765.3/W84	1 閲
国際文化学科	演奏のための楽曲分析法	熊田為宏	761/Ku32	1 閲
	Opera collection：真珠採り（名作オペラシリーズ）	Bizet	DVD/663/65	視聴覚室
	二宮宏之著作集 全5巻	二宮宏之	208/N76/1-5	3 閲
	日本の対外関係 7巻 近代化する日本（全7巻）	荒野泰典〔ほか〕	210.1/A64/7	3 閲
	多文化社会ハワイのリアリティー：民族間交渉と文化創生	白水繁彦	334.4/Sh83	2 閲
	アカデミックライティング入門：英語論文作成法	磯貝友子	836.5/I85	資格・検定 コーナー
情報コミュニケーション学科	シェイクスピアの祝祭の時空：エリザベス朝の無礼講と迷信	フランソワ・ラロック	932.5/L32	3 閲
	コレクション戦争と文学 9巻 さまざまな8・15：夏	中野重治〔ほか〕	918.6/Ko79/9	3 閲
	ユリシーズの瞳（テオ・アングロプロス全集）	テオ・アングロプロス	DVD/952/1-3	DVD コーナー
	基礎から学ぶパソコン：しくみ、操作からデータ解析まで	大藪多可志	007.6/O94	3 閲
	100の思考実験：あなたはどこまで考えられるか	ジュリアン・バジーニ	104/B14	3 閲
	現代労働問題分析：労働社会の未来を拓くために	石井まこと〔ほか〕	366/I75	2 閲
附属図書館	居場所なき時代を生きる子どもたち	三沢直子〔ほか〕	367.6/Mi21	2 閲
	こう使えば楽になる仕事に差が出るWord快速活用術	西上原裕明	582.3/N86	2 閲
	実はスゴイ！大人のラジオ体操：DVD付き	中村格子	781.4/N37	2 閲
	家族の肖像	ルキーノ・ヴィスコンティ	DVD/905	DVD コーナー
	上野先生、勝手に死なれちゃ困ります：僕らの介護不安に答えてください	上野千寿子, 古市憲寿	369.2/U45	2 閲
	地球博物学大図鑑	デイヴィッド・バーニー	460.3/B93	2 閲
図書	サグラダ・ファミリア：ガウディとの対話	外尾悦郎	523.3/So76	2 閲
	絵はがきの別府：古城俊秀コレクションより	松田法子	689.2/Ma74	2 閲
	能のちから：生と死を見つめる祈りの芸能	観世鍊之丞	773/Ka59	2 閲
	鍵のない夢を見る（2012年直木賞受賞）	辻村深月	913.6/Ts44	3 閲
館	冥土めぐり（2012年芥川賞受賞）	鹿島田真希	913.6/Ka76	3 閲

ほんのむしさん、
いらっしやい。



図書サークル、部員募集中。

本がすき!映画がすき!音楽がすき!な方、図書サークルと一緒に活動しませんか?今年学友会公認となりました当サークルは、現在5名の部員で活動中です。図書館でこんなことしたら面白いんじゃない?こうしたらもっと便利になるんじゃない?といったアイデアを出し合い、図書館がより多くの人に利用されるよう盛り上げましょう!また、そういったアイデアをお持ちの方は右に記載してあります連絡先までどしどしお聞かせください!

活動場所: 図書館(内容に伴い様々な場所で活動しています)

活動日: 第2火曜日、第4水曜日の昼休み

活動内容: 本の企画展示/ポップの制作/読書会
本の整理といった図書館の手伝い

入部希望者は、図書館にご連絡ください。
質問だけでもお気軽にどうぞ。



大分県立芸術文化短期大学附属図書館
図書館だより No19

発行日 2012年11月12日発行

編集・発行 大分県立芸術文化短期大学附属図書館

住所: 〒870-0833 大分市上野丘東1番11号

電話: (097) 545-4235

Webサイト: <http://www.oita-pjc.ac.jp/library/>



ほん太

図書館キャラクターデザイン: 若杉郁子